

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第3回行財政改革推進委員会
開 催 日 時	令和2年3月23日（月）14時30分から16時10分まで
開 催 場 所	吉川市役所 303会議室
出 席 委 員 氏 名	石坂督規委員長、小助川美穂副委員長、菊地純松委員
欠 席 委 員 氏 名	なし
担当課職員職氏名	政策室副室長兼主幹 荒川泰弘、政策室企画担当副主幹 油川誠 政策室企画担当主事 白石真由子、政策室企画担当主事 小林洵
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) パブリック・コメントの結果について</p> <p style="padding-left: 40px;">資料1 第5次よしかわ行財政改革大綱（案）に対するご意見の内容とそれに対する市の考え方</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) よしかわ行財政改革推進プランについて</p> <p style="padding-left: 40px;">資料2 よしかわ行財政改革推進プラン（案）</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p> <p style="padding-left: 20px;">すべて公開</p>
非 公 開 の 理 由	なし
傍 聴 者 の 数	0名
会 議 資 料 の 名 称	次第、資料
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	石坂委員長、菊地委員
そ の 他 の 必 要 事 項	なし

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）

1 開 会 事務局	<p>————— 《開 会》 —————</p> <p>ただ今より、令和元年度第3回行財政改革推進委員会を開会する。</p>
事務局	<p>————— 《定足数確認（会議の成立）》 —————</p> <p>本日の出席状況は、出席委員3名であり、行財政改革推進委員会設置要綱第6条第2項の規定による定足数である過半数に達しているため、本日の委員会が成立していることを確認した。</p>
石阪委員長	<p>————— 《委員長挨拶》 —————</p> <p>新型コロナウイルスの影響が様々なところに波及しているが、今回がおそらく今年度最後の委員会となる。パブリック・コメント及びよしかわ行財政改革推進プランについて最終的なご意見をいただければと考えている。</p>
石阪委員長	<p>————— 《署名委員の指名》 —————</p> <p>今回は私（石阪委員長）と菊地委員の2名を署名員としたい。 （異議なし）</p>
2 議 事 石阪委員長	<p>————— 《議事審議》 —————</p> <p>（1）パブリック・コメントの結果について</p>
	<p>それでは、事務局より説明をいただく。ある程度の項目数ごとに説明いただき、その後質疑とする。</p> <p style="text-align: center;">—事務局説明（省略）—</p>
菊地委員	<p>パブリック・コメントについては個別に回答をしているのか。</p>
事務局	<p>ご意見を提出された方に、メールで回答をし、その後ホームページにも内容を掲載する。</p>
石阪委員長	<p>今回ご意見を提出された方は1名か。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>
石阪委員長	<p>内容について見ていくと、1点目のご意見は、アウトソーシングに対して慎重な考えだが、吉川市としても保育所を公営としていくと決定するなど、現在のところ方向性が同じであるように思う。以前にアウトソーシングしたことはあるか。</p>

事務局	過去に1か所の保育園を民営化した。
石阪委員長	<p>2点目については、「市民主役」という文言を使用していないことに対してのご意見だが、大綱案において市民主役の観点をより具体的な取り組みの方向性として掲載がされている。</p> <p>3点目については、市民の方からの意見を職員が聴取し、ボトムアップによる政策等の決定を求められているが、行財政改革についてもボトムアップの考え方が重要である。</p> <p>4点目については、市民意識調査などにおいて、定住意向や幸福度については、居住歴等とも相関があるのでクロス集計など詳細な分析を引き続き行っていく必要がある。</p> <p>5点目の構成員の3名とは、この委員会の委員3名を指しているものか。</p>
事務局	その通りである。
小助川委員	行財政改革大綱案のパブリック・コメントが1件というの少ないように感じる。近年実施したパブリック・コメントの状況はどうか。
事務局	まち・ひと・しごと総合戦略についても同時期パブリック・コメントを実施したが、2件であった。より具体的な計画等についてはご意見が多く寄せられることもあるが、全体的な計画については、それほど多くはない状況である。
小助川委員	他市においても同じような状況か。
石阪委員長	他市においても同様で、意見が全く寄せられないこともある。子育てなど生活に大きく関わるものや、地区を限定したものなどについては意見が多く寄せられることもあるが、今回の行財政改革大綱などの市全体の取り組みに関連したものに対しては意見を寄せられることは少ない。
石阪委員長	<p>(2) よしかわ行財政改革推進プランについて</p> <p>本日示された資料が最終案となると思われる。こちらについてご意見をいただきたい。</p> <p>改革項目の大柱ごとに説明を区切り、質疑としたい。</p>
事務局	—事務局説明【1 効率的な行政運営】(省略)—

石阪委員長	<p>この推進プランについては、大綱と違い具体的な取り組みが書かれている。また、計画期間についても3年としており、大綱の計画期間に一度見直しがある。</p> <p>カタカナ語等が多いが、巻末に解説があるのでそれを見ながら進めていきたい。</p>
小助川副委員長	<p>事務事業評価シートについては議会の資料として利用されているとのことだが、市民の目に触れる機会があるのか。</p>
事務局	<p>9月議会において審議される決算の資料である成果表としても活用しており、議員に配布される。市民の方については、市ホームページにおいて全事務事業を公開している。</p> <p>今回のプランにおいて現在の事務事業評価シートに改革のスクリーンの視点による評価を盛り込むよう検討をするものである。</p>
石阪委員長	<p>市民の方がホームページに掲載されている膨大な量の事務事業評価シートを見ることは難しいように思われる。可能ならばキーワードで検索できるようなシステムがあるとよい。</p>
事務局	<p>約550の事務事業を課ごとに掲載している。PDF形式で掲載しているため、データ内をキーワードで検索することは可能である。</p>
菊地委員	<p>保育所入所選考システムの導入がプランに掲載されているが、待機児童はまだ存在するのか。</p>
事務局	<p>待機児童はまだ存在する。保育料の無償化に伴い、潜在的な需要も掘り起こされて、入所希望者が増えている実情もある。</p>
菊地委員	<p>AIによって入所選考するというのは、機械的に入所する子どもを選定するということか。</p>
事務局	<p>選定条件や優先事項などは現在のままで、組み合わせの対比などを人間が多く時間をかけて行っていた作業をコンピューターに行わせるということである。</p>
石阪委員長	<p>AIに頼りきりになり、導き出された結果に対しての説明ができないという状況は避けたい。AIを活用する職員がロジックを理解することは必須である。</p>

石阪委員長	オープンデータに関しては、当該データを外部に出す判断は審査会の様なもので決定されるのか。
事務局	現在は条例に基づいて担当課において公開の判断がされている。オープンデータ推進に関するガイドラインを策定しており、その中では個人情報については基本的には公開しないと取り決めているが、今後は、介護認定の状況などのデータについて氏名等を削除した上で健康関連の民間事業者が活用することも考えられるため、個人情報保護審査会の中で、判断をしていくことも考えられる。
石阪委員長	<p>他自治体において情報公開すべき情報なのかを審査する専門委員を務めているが、公開することによって市に有益なものになるかどうかを判断する方向性を決めておくことが重要である。</p> <p>民間企業に活用されることで、市にとって有益な事もあるが、逆の場合もある。公開にあたっては慎重な判断が必要である。</p>
石阪委員長	事業提案制度はどのような事業であるのか。
事務局	<p>民間事業者等から事業を提案していただき、内容を精査し、行政サービスの向上が見込めるものについて実施するものである。現在行っているものは、広告付きの窓口用封筒を無償で提供いただき、市民課等の窓口で使用している。</p> <p>今後はテーマを掲げた上で募集するなど、新たな事業を模索したいと考えている。</p>
—事務局説明【2 効果的な公共サービス】(省略)—	
小助川副委員長	市民シンクタンク事業について、出された提言はどのように処理されるのか、また市民シンクタンク事業の評価はどのように行っているのか。
事務局	出された提言については、部長級職員による会議において実現可能性などについて検討がされる。また、その結果については、研究員に対して説明をしている。
石阪委員長	市民シンクタンクの研究員をこの行財政改革推進委員会の様な審議員へ登用するなど、全庁的に活用していくことも考えられる。人材バンクの様な登録にすると活用の幅が広がる。報酬については発生しているのか。

事務局	報酬はお渡ししていない。
石阪委員長	地域の主体性が必要な改革事項については、地域差などが色濃く出るものと思われる。地域によっては、一向に事業が進まない可能性もあることから、職員をコーディネーターとして派遣することも一つの方法であるとする。
菊地委員	現在自治会において行われている事業で手一杯のところも多くあると思われる。自治会によって状況は異なると思うが、比較的新しい自治会などについては、構成員も若いこともあるため地域課題の解決にこの事業を活用することも考えられる。
石阪委員長	職員を担当地域に割り当て、1年間当該自治会と地域課題について考える取組みを行っている自治体もある。職員も成長が見込め、また、自治体と市民との間で協働関係が生まれてくることも期待できる。
小助川副委員長	雑紙の回収についても、出された雑紙を処理業者が残されたビニールなどを手作業で除去している実態があるかと思われる。市民に対し、そういった事業者の声を届けることで市民の意識も変化することが期待できる。
事務局	以前は職員が出向いて、ごみの分別方法について説明をしていたが、現在は、地域の推進委員に集まっただいて説明をしている。業者の声を届けることで市民の方の意識に変化が期待できるので担当課に伝える。
石阪委員長	<p>ゴミ関係の項目に関しては成果が明確に分かるものであることから、是非とも良い結果を期待したい。</p> <p>ゴミの分別についてチャットボットの活用が有効であると思われる。答えが決まっていることについてはAIが活躍することができる分野である。特に若い世代は窓口に行ったり、電話をかけることを嫌がる傾向がある。</p>
小助川副委員長	<p>チャットボットでは回答が満足できないこともあると思う。内容について効果的に使い分けることが重要。</p> <p>窓口や電話での対応の時間外にチャットボットがあるという点は良い。</p>
石阪委員長	プロジェクトチームの現在の設置状況はいかがか。

事務局	<p>現在も必要に応じて設置をしているが、今後も随時プロジェクトチームの設置が求められることが見込まれるため、設立などの手続きについて簡素化するなどスピード感をもって対応が可能な体制としたい。</p>
小助川副委員長	<p>ワークライフバランスの関連で、職員の働き方についても柔軟性を持たせた方がいいのではないか。</p>
事務局	<p>現在も夜に開催される会議がある日は時差出勤をするなどの制度がある。また、新型コロナウイルスの関連で、公共交通機関で通勤している職員に対し時差出勤を認めている。</p> <p style="text-align: center;">—事務局説明【3 健全な財政運営】(省略)—</p>
石阪委員長	<p>キャッシュレス決済はすでに導入されているのか。</p>
事務局	<p>まだ導入していない。</p>
小助川副委員長	<p>具体的な提示ができるほどのイメージはないが、市の歳入につながる市民との協働、例えば、現在無償で行っているサービスに協働により手を加え、有償とし、市の安定的な歳入となるような取り組みを今後検討してみてはいかがか。</p>
事務局	<p>受益者負担の適正管理の項目が、受益者からの使用料や手数料について検討を行う項目になっている。その中で検討する旨を分かりやすく表記する。</p>
石阪委員長	<p>広告収入を増やすことを検討してみてはいかがか。駅や市役所などにサイネージを設置するなど手法が様々あるが、積極的に導入することも有効ではないか。</p> <p style="text-align: center;">—事務局説明【改革のスクリーン】(省略)—</p> <p style="text-align: center;">————— 《そ の 他》 —————</p>
<p>3 その他 事務局</p>	<p>来年度の活動について 今年度にご審議いただいた第5次行財政改革大綱とよしかわ行財政改革推進プランに基づいて事業を進めていくが、進捗管理のために来年の2月以降に会議を開催したいと考えている。</p>

4 閉会 事務局	—————《閉 会》————— 以上で本日の委員会の内容はすべて終了した。これをもって、令和元 度第3回行財政改革推進委員会を閉会する。
以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和2年 月 日 署名委員 署名委員	